

「金融政策の教育・コミュニケーション面の課題：現場の立場から」
一橋大学 大学院経済学研究科、関根敏隆

"Challenges for Education and Communication regarding Monetary Policy: Views at Battlefields"

Graduate School of Economics, Hitotsubashi University, Toshitaka Sekine

本報告では、中央銀行エコノミストとして長年働いてきた経験をもとに、①経済予測等の現場では、IS 曲線にフィリップス曲線を組み合わせたシンプルな枠組みが使われており、短期的な経済動向を占ううえでは、その有用性は引き続き高いこと、②さはさりながら、経済の大きな流れを理解し、政策フレームワークを考えるときには、こうした単純なモデルだけでは、大きな間違いをおかしかねないことを述べる。加えて、日本銀行のみならず、どの中央銀行も、一般国民にどう語り掛けるか、コミュニケーション上の大きな課題を有していることを述べる。